

令和4年度第2回 流山市環境審議会 議事要旨

日 時： 令和5年2月3日（金）14時00分～14時30分

場 所： 流山市役所第1庁舎3階 庁議室

出席委員：

金森有子委員、川村香純委員、朽津和幸委員、佐藤秀樹委員、須賀武司委員、山口隆子委員、新保國弘委員、今井泰彦委員、井上菊夫委員、福山啓子委員、横田輝雄委員、和田登志子委員

事務局：

井崎流山市長、大島環境部長、伊原環境部次長兼環境政策課長、阿部環境政策課長補佐、近藤環境政策課長補佐兼環境政策係長、霜田主事、飯田主事

傍聴者：

なし

議 題：

生物多様性ながれやま戦略の改定について（諮問）

資 料：

なし

発言者	要旨
事務局	
開会 市長挨拶	
市長	<p>本日はお忙しい中、御参集いただきお礼申し上げます。</p> <p>まずは、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定にあたり御尽力いただき感謝申し上げます。</p> <p>今回は、「生物多様性ながれやま戦略」の諮問である。</p> <p>「生物多様性ながれやま戦略」は、平成22年3月に全国の市町村に先駆けて、市内の50年間にわたる生物多様性の保全について定めた先駆的な戦略である。</p> <p>その後、平成28年12月に第1回改定に向けて諮問をし、様々に御審議をいただき平成30年3月に改定、公表を行った。</p>

	<p>今回の見直しは、中期段階の更なる推進に向けて取組を強化する重要な戦略となる。</p> <p>本市はつくばエクスプレスの区画整理によるまちづくりが着実に進み、人口も増加しているが、同時に「グリーンチェーン戦略」や「まちなか森づくりプロジェクト」などにより、市街化区域の樹木を増やす取組も積極的に進め、17年間で58万本の木を植えている。</p> <p>今後も、都市としての利便性の向上とともに、豊かな自然や生態系、また、安心して暮らせる環境を次世代に残していくことにより、「住み続ける価値を高めるまちづくり」を進めてまいりたい。</p> <p>皆様には、戦略策定に際し、様々な観点から忌憚のない御意見をいただきたい。</p>
<p>会長挨拶</p>	
<p>新保会長</p>	<p>先日、総合運動公園の冬鳥調査を行った。エナガ、メジロやシジュウカラが樹木上部で確認された。木の下で人が遊んでいても、木の上に鳥はいるということが分かった。総合運動公園に隣接する古間木調整池を調査した際には、ベニマシコという珍しい鳥が初認された。調査すると色々なことが分かる。私自身、長く鳥の調査をやってきたが、ときどき感動の場に出会う。その調査に小学生も来ており、子どもたちも少し離れた場所でベニマシコを確認し、得意げな顔をしていた。古間木調整池の面積は、千葉県報告によると4.2haもある。市野谷調整池や西平井調整池等、他の池よりも広いので、上手く手を入れたらもっと良くなると思う。</p> <p>30年近く調査をしてきて分かってきたことは、流山は森のまちということであるが、森の周りに田んぼや河川、池等の湿地があるともっと良くなる。理窓会記念自然公園は池が5カ所ほど残っているため非常に良い。そのようなことに配慮し、森プラス湿地環境というまちづくりをやっていくと良いのではないかという気がしている。</p>

	<p>最後に一言、流山には生物にもものすごい好奇心や調査能力のある子どもたちが増えている。そのような子どもたちを発掘し一緒に勉強すると、流山の自然環境がさらに良くなる。ぜひ、そのようなことにも配慮いただけたらと思う。</p>
<p>生物多様性ながれやま戦略について(諮問)</p>	
<p>市長</p>	<p>〈諮問書読み上げ〉 どうぞよろしくお願ひ致します。 先ほど新保会長よりお話があったように、子どもたちが名乗りを上げて流山市の調査やイベントに参加して下さるような取組と一緒に考えていきたい。また、子どもたちも参加して流山市の自然を確認し守っていく、その過程を協力して作っていきたいと思う。</p>
<p>閉会</p>	